



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場会社名 フィンテック グローバル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8789 URL <http://www.fgi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 信光
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 鷲本 晴吾 (TEL) 050-5864-3978
 上席執行役員
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	2,209	116.6	△258	—	△297	—	△284	—
2019年9月期第1四半期	1,020	66.8	△747	—	△804	—	△599	—

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 △313百万円(—%) 2019年9月期第1四半期 △827百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	△1.42	—
2019年9月期第1四半期	△3.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	18,701	8,555	38.2
2019年9月期	19,025	8,873	39.1

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 7,150百万円 2019年9月期 7,446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年9月期の期末配当予想は未定としております。

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

中期経営計画を2020年3月頃を目途に策定し公表する予定であり、2020年9月期の業績予想は、この中期経営計画とともに開示する予定です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	201,114,600株	2019年9月期	201,109,600株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	一株	2019年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	201,111,709株	2019年9月期1Q	186,496,991株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、メッツァが2019年10月に台風による休園などの影響を受けましたが、2019年11月から各種施策を実施した結果、来園者数は前期の第4四半期と比べて19.8%増加し1ヶ月平均来園者数は10万4千人となりました。投資銀行事業においては、業務受託や航空機アセットマネジメントが堅調に推移しました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績については、前第1四半期には開業していなかったムーミンバレーパークの運営による収益費用を計上したことで、売上高は2,209百万円（前年同期比116.6%増）、売上原価は1,512百万円（前年同期比167.9%増）、売上総利益は696百万円（前年同期比53.0%増）となりました。販売費及び一般管理費については、前第1四半期には開業準備費用、その他一時的費用を計上したこともあったことから前年同期比20.6%減の955百万円だった結果、営業損失は258百万円（前年同期は747百万円の損失）、経常損失は297百万円（前年同期は804百万円の損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、非支配株主に帰属する四半期純損失12百万円により、284百万円（前年同期は599百万円の損失）となりました。

(単位：百万円)

	2019年9月期 第1四半期連結累計期間	2020年9月期 第1四半期連結累計期間	増減額
売上高	1,020	2,209	1,189
投資銀行事業	405	555	149
公共コンサルティング事業	182	64	△118
エンタテインメント・サービス事業	484	1,647	1,162
その他	7	—	△7
消去	△60	△57	3
売上総利益	455	696	241
投資銀行事業	249	316	67
公共コンサルティング事業	88	33	△55
エンタテインメント・サービス事業	131	376	245
その他	7	—	△7
消去	△21	△29	△8
営業損失(△)	△747	△258	488
投資銀行事業	△128	△71	57
公共コンサルティング事業	10	△7	△17
エンタテインメント・サービス事業	△392	△18	373
その他	△4	—	4
消去又は全社費用	△232	△161	71
経常損失(△)	△804	△297	507
税金等調整前四半期純損失(△)	△803	△294	508
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△599	△284	314

セグメント別の業績は以下のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。なお、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」に含まれていた(株)アダコテックが、前期の第3四半期に連結の範囲から除外されたことにより、「その他」の区分は廃止しております。

① 投資銀行事業

投資銀行事業では、業務受託や航空機アセットマネジメントが堅調に推移する中で、アセット投資及び企業投資の回収があったことにより売上高は増加し、売上総利益は前第1四半期の企業投資の評価損の影響がなくなったことにより増加しました。

投資銀行事業の売上高は555百万円（前年同期比36.8%増）、セグメント損失は71百万円（前年同期は128百万円の損失）となりました。

② 公共コンサルティング事業

公共コンサルティング事業では、公会計事業として地方公共団体に対する統一的な基準による財務書類作成のコンサルティング業務に加え、財務分析レポート作成や公営企業会計導入、経営戦略策定等の受託業務の営業活動を推進しております。また地方創生事業として市場拡大が見込まれるPPP/PFI手法の導入検討等の受託業務を推進しております。

なお当社は、2019年7月1日付で都市インフラ管理システムに関する事業を行う(株)ジオプラン・ナムテックの株式の一部を譲渡し、同社を持分法適用関連会社に変更したため、前期の第4四半期より連結の範囲から除外しております。

公共コンサルティング事業の売上高は、64百万円（前年同期比64.8%減）、セグメント損失は7百万円（前年同期は10百万円の利益）となりました。

③ エンタテインメント・サービス事業

エンタテインメント・サービス事業では、メッツァにおいては来園者数が2019年10月に台風で3連休の初日に休園するなど悪天候の影響を受け低調となりましたが、11月以降は、顧客満足度を高めるための施策として、平日の駐車料金無料化、「1デーパス」発売、イベント”WINTER WONDERLAND in MOOMINVALLEY PARK”などにより、来園者数は前期の第4四半期比で19.8%増加して1ヶ月平均来園者数は104千人となり、メッツァ関連の売上高は1,271百万円となりました。

ライセンス事業では、日本国内におけるムーミンキャラクターの使用許諾に関する独占的な権利を供与されたサブライセンサーとして事業を展開しております。2019年4月より原画展「ムーミン展THE ART AND THE STORY」が全国巡回しており、来場者数は東京、大分、石川、名古屋（2020年1月19日まで）までの4会場で約24万人となり、2020年には岩手、大阪、札幌、熊本への巡回が予定されています。また、保有するアニメ放映権の販売による新作テレビアニメシリーズ「ムーミン谷のなかまたち」は、NHK BS4Kでの放映が続いております。ライセンス事業の売上高は376百万円となりました。

エンタテインメント・サービス事業の売上高は、前第1四半期には開業していなかったムーミンバレーパークの運営の売上高が加わり1,647百万円（前年同期比240.0%増）となりましたが、前期の第4四半期比ではメッツァにおける10月の悪天候の影響やライセンス事業の減収により4.3%減となりました。セグメント損失は、前第1四半期の開業準備費用負担がなくなったことにより、18百万円（前年同期は392百万円の損失）となり373百万円改善しました。前期の第4四半期比では、イベント費用・販促費は増加しましたが人件費・外注費をコントロールすることにより営業費用は134百万円減少し、セグメント損益は78百万円の損失から59百万円改善しました。

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末より1.7%減少し、18,701百万円となりました。これは主として、営業投資有価証券が252百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末より0.1%減少し、10,146百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が177百万円、短期借入金が94百万円それぞれ増加したものの、1年内返済予定の長期借入金107百万円、賞与引当金が64百万円、長期借入金69百万円、リース債務を含む固定負債のその他が72百万円それぞれ減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末より3.6%減少し、8,555百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が284百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、中期経営計画について2020年3月頃を目途に策定し公表する予定であり、当期の連結業績予想は、中期経営計画とともに開示する予定です。

なお、収益向上のため、現在取り組んでいる主な事項は、投資銀行事業、エンタテインメント・サービス事業において、それぞれ以下の通りです。

投資銀行事業

アセット投資では、保有物件の売却活動を推進しており、当期中の収益化を企図しております。企業投資では、投資先のIT関連企業数社をファンド化し、エクジットすることを検討しております。メッツァビレッジについては、遊休地活用や新規テナント等により、収益力をさらに向上させる方策を検討しております。また、収益力を向上させたうえで、証券化などを検討していく予定です。

エンタテインメント・サービス事業

エンタテインメント・サービス事業では、メッツァにおいて顧客満足度の向上に伴う来園者数の拡大による収益向上を企図しております。当期は、顧客へのサービス充実化の一環として、2019年11月から平日駐車料金無料キャンペーンや1デーパスの販売などを開始しております。また、現在WINTER WONDERLAND in MOOMINVALLEY PARK(2019年11月30日～2020年3月8日)を開催しておりますが、今後も魅力あるイベントの定期的な開催を継続してまいります。そしてコンテンツについては、ソフト・ハードとも拡充してまいります。2019年11月30日からムーミンのストーリーを紹介する「ストーリーの扉」の設置や「ストーリーガイド」の配布を始めておりますが、今後もムーミンバレーパーク開業1周年に向け、コンテンツの充実を推進してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,533,187	2,547,258
受取手形及び売掛金	727,499	679,240
営業投資有価証券	1,359,941	1,107,410
営業貸付金	548,625	533,813
販売用不動産	4,211,988	4,238,709
商品	208,577	270,734
その他	948,410	1,028,245
貸倒引当金	△99,641	△91,607
流動資産合計	10,438,589	10,313,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,328,377	5,337,349
減価償却累計額	△137,112	△184,635
建物及び構築物（純額）	5,191,265	5,152,713
その他	2,092,587	1,994,160
有形固定資産合計	7,283,853	7,146,874
無形固定資産		
のれん	180,388	148,456
その他	544,540	535,697
無形固定資産合計	724,929	684,154
投資その他の資産		
投資有価証券	211,068	203,570
その他	366,683	353,383
貸倒引当金	△110	△253
投資その他の資産合計	577,641	556,700
固定資産合計	8,586,424	8,387,729
資産合計	19,025,014	18,701,533

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	213,256	390,693
短期借入金	373,904	468,304
1年内返済予定の長期借入金	752,968	645,596
未払法人税等	98,999	80,049
賞与引当金	157,244	92,319
その他	1,413,720	1,466,090
流動負債合計	3,010,093	3,143,053
固定負債		
長期借入金	6,086,260	6,016,589
退職給付に係る負債	94,633	98,172
その他	960,856	888,711
固定負債合計	7,141,750	7,003,472
負債合計	10,151,843	10,146,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,461,911	6,462,062
資本剰余金	5,015,924	5,016,132
利益剰余金	△3,997,770	△4,282,655
株主資本合計	7,480,064	7,195,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,935	△4,225
為替換算調整勘定	△29,558	△40,597
その他の包括利益累計額合計	△33,493	△44,823
新株予約権	65,837	61,220
非支配株主持分	1,360,762	1,343,069
純資産合計	8,873,170	8,555,007
負債純資産合計	19,025,014	18,701,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)
売上高	1,020,148	2,209,465
売上原価	564,807	1,512,927
売上総利益	455,340	696,537
販売費及び一般管理費	1,202,697	955,454
営業損失(△)	△747,356	△258,917
営業外収益		
受取利息	960	268
為替差益	—	4,500
受取和解金	5,821	—
営業外収益合計	6,781	4,768
営業外費用		
支払利息	30,332	33,071
持分法による投資損失	—	7,935
支払手数料	21,461	1,500
その他	12,224	362
営業外費用合計	64,019	42,869
経常損失(△)	△804,593	△297,017
特別利益		
新株予約権戻入益	1,448	4,486
特別利益合計	1,448	4,486
特別損失		
出資金清算損	178	—
出資金評価損	—	2,140
特別損失合計	178	2,140
税金等調整前四半期純損失(△)	△803,323	△294,671
法人税、住民税及び事業税	10,395	19,304
法人税等調整額	△3,085	△16,603
法人税等合計	7,310	2,701
四半期純損失(△)	△810,633	△297,372
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△211,278	△12,488
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△599,355	△284,884

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△810,633	△297,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,366	△290
為替換算調整勘定	△2,442	△16,185
その他の包括利益合計	△16,809	△16,476
四半期包括利益	△827,443	△313,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△615,559	△296,213
非支配株主に係る四半期包括利益	△211,884	△17,635

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ151千円増加しております。この事項とその他の変動を含めた結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が6,462,062千円、資本剰余金が5,016,132千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	投資銀行 事業	公共コンサ ルティング 事業	エンタテイ ンメント・ サービス事 業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	351,411	179,377	481,606	1,012,396	7,751	1,020,148	—	1,020,148
セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注) 4	54,432	3,000	2,946	60,378	—	60,378	△60,378	—
計	405,844	182,377	484,552	1,072,774	7,751	1,080,526	△60,378	1,020,148
セグメント利益又 は損失(△)	△128,531	10,090	△392,341	△510,781	△4,089	△514,870	△232,485	△747,356

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、連結子会社が行っているコンピュータソフトウェアの研究、開発、製造及び販売を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△232,485千円には、セグメント間取引消去61,142千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△293,628千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

4 「投資銀行事業」におけるセグメント間の内部売上高又は振替高には、「投資銀行事業」に属する当社が「エンタテインメント・サービス事業」に属する連結子会社である㈱ムーミン物語に賃貸するメッツァビレッジの賃料収入47,922千円が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「エンタテインメント・サービス事業」において、㈱ライツ・アンド・ブランドの新規連結に伴い、のれんが107,802千円発生しております。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	公共コンサル ティング事業	エンタテイン メント・サー ビス事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	500,998	61,240	1,647,225	2,209,465	—	2,209,465
セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注) 3	54,073	3,000	200	57,274	△57,274	—
計	555,072	64,240	1,647,426	2,266,739	△57,274	2,209,465
セグメント損失(△)	△71,498	△7,452	△18,521	△97,472	△161,444	△258,917

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△161,444千円には、セグメント間取引消去62,657千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△224,101千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

3 「投資銀行事業」におけるセグメント間の内部売上高又は振替高には、「投資銀行事業」に属する当社が「エンタテインメント・サービス事業」に属する連結子会社である㈱ムーミン物語に貸貸するメツァビレッジの賃料収入43,973千円が含まれております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より「その他」の区分に含まれていた㈱アダコテックが、連結範囲から除外されたことにより、「その他」の区分は廃止しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。